

九州大会・全国大会に出場する市内中学校の各部が宮原市長を表敬訪問 宮崎県代表の誇りを胸に、大会での活躍を誓う

県中学校総合体育大会を勝ち抜き、九州大会や全国大会に出場を決めた各部が宮原市長を表敬訪問。県大会の報告と上位大会への意気込みを話し、市長が激励しました。



- ① 三松中学校男子ハンドボール部
- ② 三松中学校女子ハンドボール部
- ③ 三松中学校陸上部
- ④ 小林中学校陸上駅伝部
- ⑤ 小林中新体操部
- ⑥ 西小林中学校陸上部

全国中学校体育大会

【個人競技】(学年)

- ・小林中学校陸上駅伝部 齊藤元 (3年)
- ・西小林中学校陸上部 森本煌 (3年)

—全国・九州大会への意気込み—

- ・三松中学校女子ハンドボール部 谷口麗さん「先生や監督、保護者、応援してくれる地域の人たちなどに感謝の気持ちを持って、最後の1秒まで走り抜きます」
- ・小林中学校新体操部 大出水悠さん「悔いの残らないよう、みんなで心を1つにして演技してきます」
- ・西小林中学校陸上部 森本煌さん(砲丸投げ)「標準記録の13回飛ばし、九州大会では入賞を取りたいです」

九州中学校体育大会

【団体競技】

- ・三松中学校男女ハンドボール部
- ・小林中学校新体操部

【個人競技】(学年)

- ・三松中学校陸上部 下蘭彩奈(3年) / 山下光希(3年) / 春田珠空(3年) / 脇田蓮矢(2年)
- ・小林中学校陸上駅伝部 西蒼志(3年) / 山下純平(3年) / 内村凌(2年) / 半崎佳汰(2年) / 若松幸音(2年) / 富満丈積(2年) / 田畑莉心(2年) / 新倉緋奈乃(2年) / 田中優哉(1年) / 小河内優駿(1年) / 岩元翔太(1年) / 河島椿(1年)
- ・西小林中学校陸上部 吉田龍矢(3年) / 森本煌(3年)

小林初のクラフトビール 「KOBAYASHI ni ALE」が完成



池田代表(前列右から2人目)は「柚子の香りが特徴で、料理に合う仕上がりになった。ビールを求める人でにぎわい、小林が元氣になれば」と話しました

8月3日、市内飲食店店主などが立ち上げた市民団体「KOBAYASHI ni ALE (池田幸士郎代表)」が、市内湧水と須木産の柚子を使用した小林初のクラフトビールの完成を発表しました。小林にエール(応援)を送りたいという思いで同団体が企画。今後、市内5つの飲食店で提供されるほか、市内のイベントなどでも販売される予定です。

小林西高生徒が料理の腕を振るう 「三ツ星レストラン」4年ぶり開催

7月21日～22日と8月4日～5日に、小林西高校の調理科3年生が実習で培った料理の腕をふるう「三ツ星レストラン2023」が開店されました。コロナ禍で過去3年は中止や保護者限定の開催となっており、一般客相手に開催するのは4年ぶり。鶏肉のバロティーヌやカレイのあんかけをメインとしたコース料理が提供されました。



シフォンケーキ作りを担当した森岡真美さんは「美味しかったという感想を聞くことができうれしい。この経験を将来に活かしたら」と前を見据える

約300年継承されてきた岩戸神楽 六月灯で4年ぶりに奉納

7月30日、岩戸神社(堤地区)で岩戸神社六月灯が4年ぶりにありました。はじめに神事が行われ、続いて岩戸神楽保存会(田原治男会長)が、約300年継承されてきた岩戸神楽を奉納。同神社祭神タジカラオノミコトにちなむ「天の岩戸開き」、勇壮な「剣の舞」、「長刀の舞」の3番が披露され、会場からは大きな拍手が送られていました。



婦人会による踊りやせんぐまきなどが行われたほか、野尻町出身の江戸太神楽師(曲芸師)仙若さんの太神楽も披露されました

介護予防活動に取り組む 地域包括ケア推進サポーターを養成



参加した大田安子さんは「事前の予防のための行動が大切と分かりました。自分や周囲のためにも学ぶことができよかったです」と話していました

8月3日、高齢者が健やかに住み慣れた地域で暮らせる地域づくりを目指して活動する「地域包括ケア推進サポーター」の養成講座が中央公民館でありました。全3回のうち最終回となった今回は、傾聴についての講義を受講。実際に各地区で活動するサポーターから活動の紹介を受けるなどした後、受講者に修了書が授与されました。

姉妹都市同士の友好の架け橋に 石川県能登町の『中学生友好使節団』16人が来市



Photo1 ジュースを片手に笑顔で乾杯 2 農家民泊でピーマンの収穫体験 3 協力して左近太郎に挑戦 4 木製写真立てを製作する様子 5・6 生徒同士や受入農家と別れを惜しむ姿も

8月19日～21日、姉妹都市の石川県能登町との交流事業『中学生友好使節団』として能登町の中学生16人が小林市を訪れ、市内の中学生10人と交流しました。能登町は旧野尻町の姉妹都市で、平成7年から使節団を毎年交互に派遣してきましたが、令和元年に本市の使節団が能登町を訪問したのを最後に、コロナ禍で中断していました。

4年ぶりの交流となった今回は、1日目はバーベキューやレクリエーション、2日目は農家民泊などで交流を深めました。最終日のお別れの会では、生徒同士や受入農家と別れを惜しむ場面も。参加した能登町の岡島碧人さんは「小林は山が大きくて驚いた。農家民泊で自然に触れて、小林のよさが分かりました」と振り返りました。

野尻放課後児童クラブ 日頃の道路清掃活動が評され表彰

8月21日、野尻放課後児童クラブが宮崎県道路利用者協議会会長表彰を受賞しました。これは同クラブが7年ほど前から行っている道路清掃活動が評価されたもの。クラブ代表の楠元千恵子さんは「道路が汚れているからごみを捨てやすい気持ちになるのではと子どもたちが自ら考え始めたこの活動が評価されうれしい」と話しました。



クラブに通う児童26人を代表して表彰状を受け取った田尻心結さん（野尻小2年）は「これからもごみ集めや葉っぱ集めをがんばります」と笑顔

宇宙ってどんなところだろう 身近な道具で宇宙を再現し学ぶ



人工衛星の設計エンジニアとしての知識をもとに宇宙教育指導を行う和田さん。「多くの人に宇宙の面白さ、不思議を伝えたい」と話していました

8月17日と18日に、市キャリア教育支援センター主催の宇宙教室が開催されました。一般社団法人宇宙カルチャー推進協会理事の和田直樹さんを講師に迎え、「宇宙をつくろう」と題した体験型探求授業に子どもから大人まで約30人が参加。身近な道具で宇宙と同じ環境を作る実験では、参加者から驚きの声があふれていました。

みんなちがってみんないい！ レモンさん差別問題について講話



これまで多くの子どもの悩みに耳を傾けてきたレモンさん。自分で考え、行動し、子ども自身の乗り越える力を引き出すことに務めてきたそう

8月12日、人権啓発講演会が開催されました。講師には、テレビ番組の司会や大学講師など、さまざまな顔を持つレモンさん（山本シュウさん）が登場。レモンさんは「人は無意識の思い込みや偏見を持つことが多い。そうした考えを変えようとするのではなく、相手を知ろう、分かろうと意識することが大事」と話していました。

小学生対象の「ドイツ絵画教室」を開催

8月11日、中央公民館で「ドイツ絵画教室」が開催されました。ドイツ大使館主催の絵画コンテストにあわせたもので、児童11人が参加。「ドキドキドイツ」をテーマに、ドイツで行ってみたい場所ややってみたいことを想像しながら作品を完成させました。



須木の夏の風物詩 すきむら河川プール

7月22日から8月1日まで、すきむら河川プールが開設されました。プールは、市民や帰省客などの家族連れが連日大にぎわい。来場者は、会場に並ぶすきむらんのフードトラックで、かき氷やドリンクなどを味わい、真夏の須木の大自然を満喫しました。



小林市×宮崎観光ホテルが連携し 魅力を再発見するフェアを開催

7月1日からの3カ月間、市と株式会社宮崎観光ホテルが連携し、「小林市×宮崎観光ホテルこばやしフェア2023」を開催中です。小林市の魅力を再発見してもらうことが目的で、取り組みは今年で3年目。期間中は、ホテル内レストランでの小林市産食材を使った特別メニューの提供や、売店での特産品の販売などを実施しています。



8月5日には宮崎市の花火大会にあわせてホテル内イベントテラスで特産品の販売などを行うマルシェを開催し、小林市をPRしました

細野コスモスジュニア大丸桔平さん 陸上競技で全国大会に挑む



大丸さんは、走り幅跳びとジャベリックボール投（羽の付いた楕円形のボールを投げる競技）の合計得点で競う競技「コンバインドB」で優勝しました

8月10日、細野コスモスジュニアの大丸桔平さん（細野小6年）が6月に開催された第39回宮崎県学童陸上競技大会で優勝し、全国大会への出場権を獲得したことを市長に報告しました。大丸さんは「全国大会では他県の選手とも交流を深めたい。目標は上位入賞。記録を伸ばせるよう練習したい」と意気込みました。